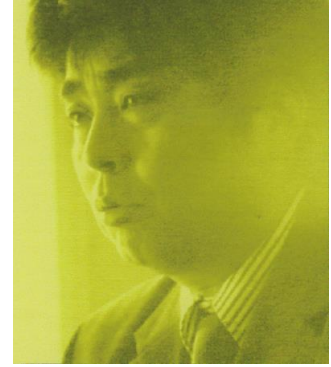


むら か み りゅう  
**村 上 龍**

\* 昭和27年 2月19日 佐世保市生まれ



## ○ 略歴

昭和45年 高校卒業後上京  
(18歳)

昭和51年 美大在学中に「限りなく透明に近いブルー」がベストセラーに  
(24歳) (現在まで350万部以上の大ベストセラー)

昭和53年 自らの監督で映画化  
(26歳)

以降、作家のほか、映画監督、プロデューサーなど多方面で幅広く活躍

[平成12年～平成30年 芥川賞選考委員]

## ○ 主な受賞歴

昭和51年	第19回群像新人賞	「限りなく透明に近いブルー」
	第75回芥川賞	「限りなく透明に近いブルー」
	第11回新風賞	「限りなく透明に近いブルー」
昭和56年	第3回野間文芸新人賞	「コインロッカーベイビーズ」
平成8年	第24回平林たい子文学賞	「村上龍映画小説集」
	キューバ文化功労賞	
平成10年	第49回読売文学賞	「インザ・ミソスープ」
平成12年	第36回谷崎潤一郎賞	「共生虫」
平成17年	第59回毎日出版文化賞	「半島を出よ」
	第58回野間文芸賞	「半島を出よ」
平成18年	神奈川文化賞 [文学]	
平成22年	第52回毎日芸術賞	「歌うクジラ」

## ○ その他の代表作

‘69 (昭和62)、愛と幻想のファシズム (昭和62)、トパーズ (平元)  
ラッフルズホテル (平元)、希望の国のエクソダス (平12)  
最後の家族 (平13)、13歳のハローワーク (平15)  
55歳からのハローライフ (平24)